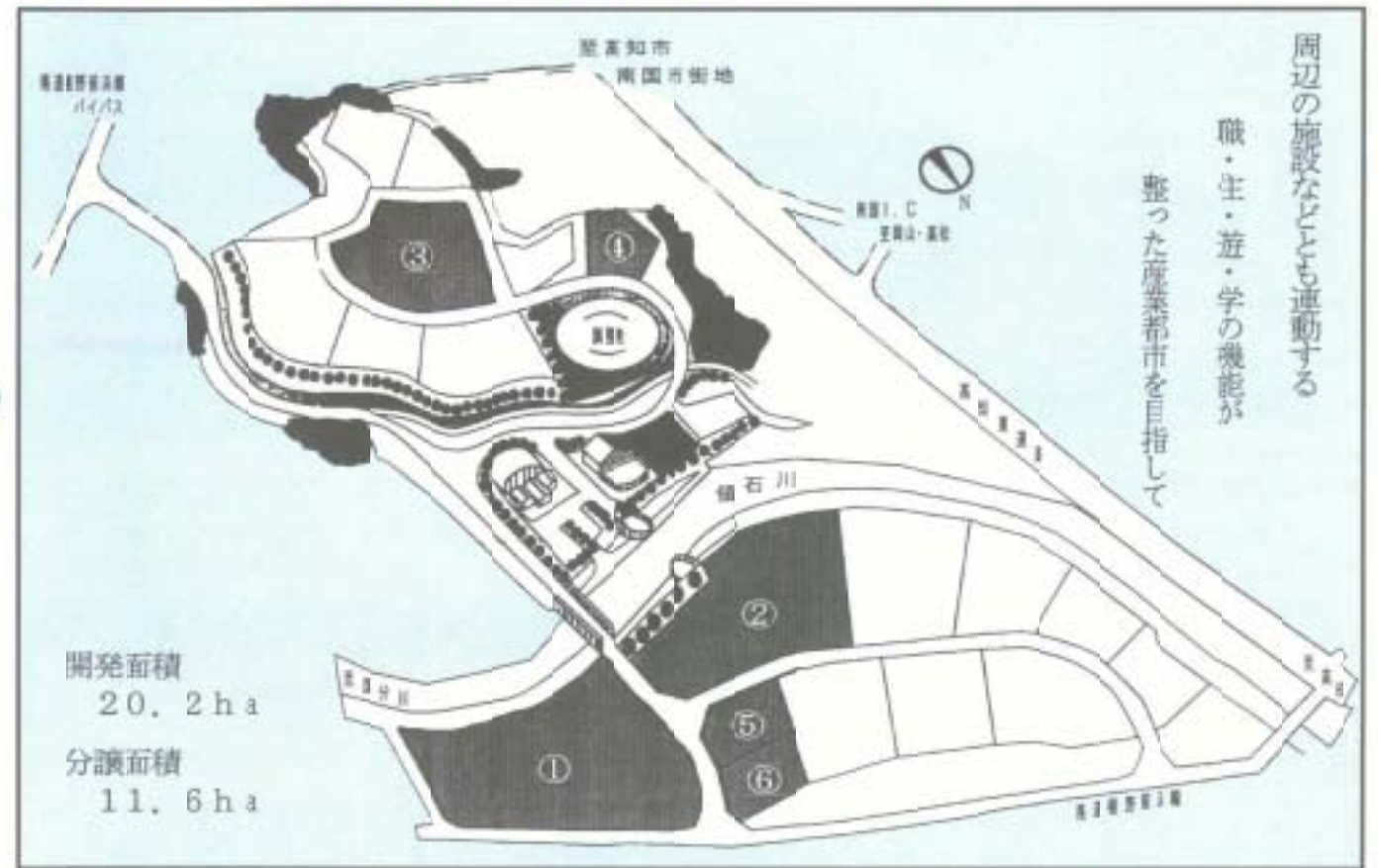


# 順調に分譲! 南国オフィスパーク



周辺の施設なども運動する

職・生・遊・学の機能が

整った産業都市を目指して

- ①株式会社 四国銀行 (19,883m<sup>2</sup>)  
今後、重要視される銀行の情報サービスを一手に管理する事務センターを予定。  
「永久的に耐えられるスペース確保が目的」
- ②株式会社 ヤクオー (16,569m<sup>2</sup>)  
ますます高まる情報化と本社機能の充実を目指して
- ③株式会社 富士通 (8,279m<sup>2</sup>)  
マルチメディア時代に対応するソフトウェアの開発拠点を予定。  
「産学共同研究で相乗効果が期待できる」
- ④株式会社 信責精器 (約2,400m<sup>2</sup>)  
超精密加工の研究開発施設を予定。  
「交通アクセスが良いことや高知工科大の卒業生など人材確保が見込まれる」
- ⑤株式会社 アイビス (約2,600m<sup>2</sup>)  
本社およびソフトウェア研究開発施設を予定。  
「マルチメディア時代をにらんだ企業発展のために」
- ⑥株式会社 ヒワサキコンピュータシステム (約1,500m<sup>2</sup>)  
本社およびソフトウェア研究開発施設を予定。  
「同パークが本県の情報産業の拠点になると判断」

産業業務施設（オフィスアルカディア）事業による南国オフィスパークは、平成七年度に着工し、分譲・予約進出協定の締結などで企業誘致を促しています。

分譲主は地域振興整備公団ですが、県や市も積極的に誘致に取り組んだ結果、現在六区画（上図の番号）の立地が確定し、予定とおり順調に分譲が行われています。

立地完了時の従業員数は、二千人を見込んでおり、経済的効果など市にとってさまざまな成果が期待されます。



▶平成八年一月に着工した四国銀行事務センターがその骨格を現わしています

## 25周年土佐清風園



高知県最初の社会福祉法人立施設として開設された特別養護老人ホーム土佐清風園が六月一日、二十五周年を迎えました。新しい一步を踏み出した歴史ある施設に高い評価と期待が集まっています。

ている人で月に十万五千八百円となっています。まったく無料の人も八人います。

扶養義務者負担の最高は月に十四万三千八百円でした。

### こころ温まる 交流がいっぱい

入所者の皆さんの楽しみは、多彩なメニューの食事と日替り行事への参加などのほか、市内のみなさんのボランティア活動による「ふれあい・地域交流」事業への参加です。

中でも、南国市連合婦人会

のオムツ、枕カバーなどの縫い物奉仕活動は、毎月定期的に実施されていて、大変感謝しているそうです。

小学生や中学生の訪問のほか企業からのプレゼント、理容組合の出張サービス、有志による掃除や鳥子踊りの披露など、こころ温まる交流がいっぱいです。

### 小さな努力を コツコツと

園長の藤田さんの号令で「古くても日本で一番清潔な施設の運営を」をモットーに朝と昼全職員で清掃を実施しています。

ひさしぶりに施設を訪問した人が驚くほどの「床の輝き」が復活しました。

職員のみなさんの「愛情」で、「来る人、入所する人の



こころを打つ施設にしていきたい」と、今後もさらに努力を続けていくそうです。

二十五年間、県で最初の社会福祉法人立施設として市民の強い希望により設立された土佐清風園。今の資財価値で計算すると、「約一億六千万円」相当になる多額の負担を、市がしています。

この施設に入所している高齢者の大多数が「今日あること」を予測し税金の支出を認められた結果だったといえます。間にせまった高齢化社会への対応もまた、「先人に学びながら充実していく」そんな「健康文化都市南国の建設」が期待されています。

少子・高齢化が進行し、在宅での高齢者介護が困難になるうとしているとき、老人福祉施設の役割は一層重要なものになります。また、新ゴールドプランが打ち出され、高齢者福祉の介護保険導入が検討されることなどにより、サービスの質、量ともに充実させることが求められています。

した。

利用状況は一日平均で七十九・五人、九十九・四割です。年齢層は八十歳代が最も多く、出身市町村別では、もちろん南国市がトップで六十八人。

入園後二年から四年の人が多く、約半数を占めています。一方、二十年以上の人も二人いて、九十二歳になるとても元気な人もいます。

自己負担の最も多額になっ